

## 7.【幼少年活動】八尾市幼防クラブ員が「防火フェスティバル」に参加ほか〔天草、若狭、富山、別府〕

### 幼年消防クラブ員が「防火フェスティバル」に参加

大阪府 八尾市幼年少年防火委員会

八尾市幼年少年防火委員会では、11月14日(土)秋の火災予防運動の行事として、八尾市幼年消防クラブのみよし保育園、あひる保育園、千塚保育園、あけぼの保育園の4園から約200人の園児が参加し、第24回八尾市幼年消防クラブ防火フェスティバルが市立総合体育館ウイングで盛大に開催されました。

各クラブの代表の園児8名が田中八尾市長に対して「火遊びはしません」と防火の誓いを宣言した後、各園の演技が始められました。

かわいいコスチュームに身を包んだ園児たちは、日頃からの練習の成果を十分に発揮し、小太鼓・大太鼓などを操りながら見事なドリル演奏を披露しました。この演技には会場から盛大な拍手が贈られました。



4園から約200人の園児が参加



かわいいコスチュームでドリル演奏を披露

[▲ このページの上に戻る](#)

### 幼年消防クラブ員が防火を願って餅つき大会！

熊本県 天草広域連合消防本部

中央消防署有明分署では、12月2日に赤崎保育所幼年消防クラブ員23名の園児たちと地域の防火を願い「防火餅つき大会」を実施しました。

「火の用心」の法被を着用した園児と消防職員が、「よしよ 頑張れ」の大きな掛け声に合わせて、一生懸命に餅をつきあげ、お母さんたちと一緒に、もみじのような小さな手で

丸め、おいしそうに頬張っていました。また、つきたてのお餅を近所の事業所に配り「火の用心をしてください」と呼びかけました。



餅つきで「火の用心」

▲ [このページの上に戻る](#)

## 「火災予防教育は幼少期から」をスローガンに、親子の防火フェスティバルを開催

福井県 若狭消防組合消防本部

秋季火災予防運動の行事として、11月10日（火）に小浜市文化会館において（財）日本防火協会との共催で、市内4保育園1幼稚園から園児約300名、保育士30名、保護者約100名の参加のもと、「親子の防火フェスティバル」を開催しました。

職員が企画、構成した寸劇「出現・怪人メラメーラ」では、

- 子供が親に内緒で焚き火をしているところに怪人メラメーラが登場。
- 子供に「もっと大きな火を燃やせ」と囁かせる。
- そこに正義の味方、ファイアーレンジャー3人が登場。
- 会場の園児たちの大きな声援を受け、怪人メラメーラをこらしめました。

ストーリーは簡単でしたが、子供たちにはおおいにうけました。特に、ファイアーレンジャーの身の軽さ(?)には園児一同大爆笑でした。寸劇最後には、登場した消防士のお話にも、真剣に耳をかたむけ、園児全員大きな声で「火遊びはぜったいしません」と防火の誓いをしました。



市内4保育園1幼稚園から  
園児約300名が参加



ちびっ子消防士ファッションショー



消防音楽隊ミニコンサート

ファッションショーでは、それぞれの消防服が登場しました。ちびっ子消防士が登場すると「かっこいいー」の声があがりました。消防音楽隊ミニコンサートでは、アニメソング「サザエさん」や

「ミッキーマウスマーチ」などを演奏、園児全員大きな声で歌いました。

保育園からのPR効果もあり園児の家族はもちろん、一般の見学者も多数参加され、各家庭においての防火に対する話題の提供になったのではないかと思います。

「火災予防教育は幼少期から」をスローガンに、継続して行きたいと考えております。

▲ [このページの上に戻る](#)

## 「第55回富山県小学校火災予防研究発表大会」

富山県消防課

富山県では、毎年、秋季全国火災予防運動の期間中に、県内の小学校を対象として、火災予防に関する研究、体験等についての発表大会を開催し、防火思想の普及・啓発と少年消防クラブの発展向上を図り、火災のない安全で住み良い地域づくり・郷土づくりを推進しています。

今年、11月14日（土）に富山県教育文化会館（富山市舟橋北町）で開催され、県内の各地域を代表して17校115名の小学校が、研究成果について元気よく発表を行いました。

今回の大会で、特選及び北日本新聞社賞を受賞した富山市立広田小学校は、高齢者180世帯へ防火アンケートを実施したり、一人暮らしの高齢者への巡回を強化してもらうよう地域の消防署出張所へお願いしたりするなど、地域に住む高齢者のための実践的な防火活動が高く評価されました。また、住宅用火災警報器の取り付けに困っている高齢者のために、地域の消防団に対して、高齢者宅の住宅用火災警報器の取り付けについて協力をお願いするといった取組みも独創的であると評価されました。

また、金賞を受賞した高岡市立西広谷小学校は、山に囲まれた地理条件から山火事に対して問題意識を持って研究にあたり、校区の全家族に対して「ひやり体験」のアンケートを実施し、西広谷校区では「たき火」が原因の「ひやり体験」が一番多いことを認識しました。そして、その「たき火」について調べていく中で「西広谷校区では夕方から夜の間だけ野焼きやたき火をすることができる」といった地域独自のルールがあることを学ぶとともに、手作りの消火器模型を使って消火器を利用した初期消火活動について下級生へ教えてあげるなど、火災のない地域づくりに役立つ実践的な取組みが高く評価されました。



射水市立塚原小学校の研究発表



住警器設置率などについて調査した子供たち



高岡市立戸出東部小学校の研究発表

なお、今大会で入賞した学校は以下のとおりです。

特選及び北日本新聞社賞 富山市立広田小学校 6年  
金賞 高岡市立西広谷小学校 5～6年  
銀賞 射水市立塚原小学校 5年  
銀賞 射水市立太閤山小学校 5年  
銅賞 高岡市立戸出東部小学校 5年  
銅賞 富山市立萩浦小学校 6年

▲ [このページの上に戻る](#)

## 幼年消防クラブが「第34回市民と消防のつどい」に参加

大分県 別府市消防本部

11月15日、日曜日、別府公園にて、「第34回市民と消防のつどい」を「第22回別府市福祉まつり」と同時に開催いたしました。

消防関係機関、福祉関係機関が広く市民の皆様に、消防行政、福祉行政への理解と、協力を呼びかけることなどを目的に毎年開催しているものです。

当日は、天候にもめぐまれ、午前10時から公園内特設ステージにてオープニングセレモニーのあと、餅まき、明星幼稚園幼年消防クラブ鼓笛演奏、リズムダンス、フラダンス演舞、相撲甚句、太鼓演奏などが行われました。

また、公園内には、福祉団体等による模擬店や消防団、消防関係団体によるうまいものコーナーがオープンし、おいしいもの、安いもの等を販売し多くの市民に喜んでいただきました。



「第34回市民と消防のつどい」開会宣言



はしご車試乗体験



チビッコレンジャー体験

そして、体験コーナーとして、はしご車試乗体験、起震車による地震体験、チビッコレンジャー体験、消防車両の展示などを行いました。なかでも、はしご車試乗体験、チビッコレンジャー体験は大変な人気となり長蛇の列が出来るほどでした。

食べて、見て、体験も出来る盛りだくさんのイベントに公園内は約24,000人の来場者であふれ、秋の一日を消防活動への理解を深めながらたのしんでいただきました。